

社協なかつがわ

# ボランティアセンターだより

平成19年4月1日発行

第9号

## シニアボランティア養成講座開催

### 「シニアパワー」を福祉ボランティア活動に役立ててみよう！

平成19年3月1日・8日・15日の3回にわたり『シニアボランティア養成講座』を開催し、定年退職された方や退職を控えている方など20人が参加しました。

「シニアボランティアの必要性について」や「地域で活躍するシニアボランティアからのお話」などの講義と、「車イス介助の方法」、「家庭介護の方法」、「地域のボランティア活動見学・体験」など実技講習を行いました。

参加者は、「車イスの扱い方や介護の方法、ボランティア活動の基本的な考え方など今まで知らなかったことを学ぶことができてよかった」、「ボランティアの心構えとして、自分ができることを無理なく継続することの大切さがわかった」、「地域では福祉ボランティアが不足しており、シニア世代ができる活動もいろいろあるので関わっていききたい」など、今後の活躍に期待したいと思います。



▲実際に車イスを使って車イス介助の方法を学びました



▲衣服の着脱介助の方法について学びました

の心構えとして、自分ができることを無理なく継続することの大切さがわかった」、「地域では福祉ボランティアが不足しており、シニア世代ができる活動もいろいろあるので関わっていききたい」など、今後の活躍に期待したいと思います。

## 福祉推進校の取り組み

### 「児童・生徒の「福祉」の実践」

社協では、市内すべての幼稚園・小学校・中学校・高等学校を「福祉推進校」として指定を行い、学校ごとに「福祉」について学び、考え、実践する取り組みを行っています。

「福祉」についての基本的な学習や、地域の高齢者や障害を持った方や幼児との交流活動などを通じて、人を思いやる気持ちやお互いに支え合って生きていくことの大切さを学びます。

子どもたちの福祉の意識を育てる活動は、今後の地域福祉を支える人づくりにもつながり、とても大切なことだと言えます。

また、福祉推進校事業の財源としては、皆様からの寄付金や会費などを活用させていただいております。



高齢者の特徴がよくわかりました。

▲高齢者疑似体験の様子（蛭川中学校）



▲特別養護老人ホーム利用者との交流（神坂小学校）

三味線を弾くので聴いてください。



一針一針心をこめてつくりました。

▶手づくりの「花ふきん」を通じた地域の高齢者との交流（中津商業高校）

# 平成18年度ボランティア交流会開催報告

## 「災害時の福祉ボランティア活動を考えよう」

2月24日(土)に健康福祉会館にて『平成18年度ボランティア交流会』が開催され、社協登録ボランティア団体31団体89人が参加しました。

今回は「災害時の福祉ボランティア活動を考えよう」というテーマに沿って各種ボランティア同士の交流が行われました。

平成17年の合併前に開催されたボランティア交流会でもこうしたテーマで交流会が行われ、その後、東海地震を想定した「災害時福祉ボランティア活動計画」を作ったボランティア団体(10団体のうちの3団体)が計画作成までの取り組みについて事例発表を行いました。

事例発表をふまえ、今後は各ボランティア団体が課題を持ち帰り、それぞれに「災害時福祉ボランティア活動計画」作成に向けた取り組みを行う予定です。



▲グループに分かれて熱心な意見交換が行われました。



▲災害救援ボランティアグループ「中津川市災害救援市民会議」のみなさんにも参加いただきました。



▲登録ボランティア連絡協議会のみなさんが司会進行を行いました。

## 事例① 岐阜県手話サークル協議会 中津川支部かやの実会

「聴覚障害者支援マップを作成し、  
安全確認と情報提供を」

災害発生後、聴覚障害者(将来的には視覚障害者、難聴者を含めて)に対し、連携団体とともに聴覚障害者の安全を携帯電話、電子メール等で確認します。可能であれば、本人に会って確認します。生活物資関係等の配布情報に努めます。避難所内での生活情報の手話通訳や場所案内などを行います。

また、旧中津川市内においては、「聴覚障害者支援マップ」を作成し、聴覚障害者及び手話サークル会員の名前、連絡先などの基本情報が一目でわかるよう整備しました。今後は、市内全域を対象としたマップ作成に取り組んでいく予定です。



▲手話サークルかやの実会発表者...伊藤さん



▲災害時には聴覚障害を持つ方へ情報伝達が難しいとされています。

## 事例② 音訳ボランティアさざなみ会 「防災パンフレット「東海地震に備えよう」の 音訳テープを作るまで」

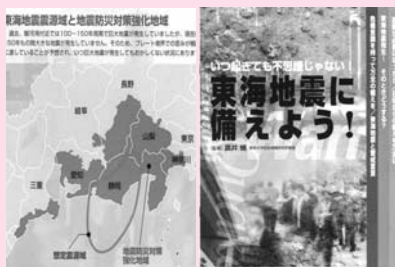
音訳ボランティア「さざなみ会」は、視覚に障害のある方に、文字を『音声』に換えて支援を行うグループです。

主な活動は、①中津川市の広報などの生活情報の音訳テープ化、②図書の音訳テープ化、③老人福祉施設等での対面朗読です。

阪神淡路大震災を契機として災害への対策が緊急の課題として浮上し、ボランティア交流会でも災害時におけるボランティア活動のあり方についての話し合いが持たれるようになりました。

そのような状況の中で、市の担当者にお話を聞いたり、点訳のグループの方々と話し合ったり、また、視覚に障害を持つ方に話しを聞いたりしましたが、障害者に対する防災対策はまだまだ不十分であることが判りました。

そこで、「さざなみ会」として今できることは、視覚に障害を持った方々に事前に「情報を伝える」ことであると考え、今回発表事例の通り、「東海地震に備えよう」の防災テープを作成し利用してもらうことにしました。なお、このテープを聴いて見たい方は社協にご連絡ください。



▲中津川市防災パンフレット「東海地震に備えよう！」  
地図やイラスト、記号などを音訳し、視覚に障害のある方に正確な情報として伝えることはとても難しい作業です。



▲音訳ボランティアさざなみ会のみなさん  
(発表者・・・南さん、村松さん、渡辺さん)

## 事例③ 三菱電機株式会社中津川製作所ボランティアクラブ 「普段の活動を災害時に行うための組織・体制づくり」

当ボランティアは各種福祉施設で開催される夏祭り等の恒例行事の運営支援、弊社OBボランティアクラブとの共同による施設の清掃、機械点検補修、社員の寄付金により地域福祉施設への寄付活動等を実施しております。

災害福祉ボランティア活動計画策定においては、「災害発生直後」、「初期」、「中期」、「復興期」という段階において①自分たちは何ができるのか？②何が得意分野なのか？③それはいつ必要なのか？を考えました。

災害だからといって、特別なことをする必要はありません。自分たちのできることを必要な時に実行できる組織・体制づくりが今後必要になると考えます。社協、他の団体の方々と連携をとりあって防災体制を築いていきたいと考えております。共に頑張りましょう。



▲三菱電機株式会社中津川製作所ボランティアクラブ  
(通称：MVクラブ)の発表者・・・神谷さん



▲災害時においても、日常と変わらず、自分たちが  
できるボランティア活動を行いたい。  
(福祉施設でのペンキ塗り作業の様子)

# つながる ひびくる ボランティア団体の紹介コーナー

## フレンドリークラブ

(会員43人 / S59・4結成)

フレンドリークラブは、個人ボランティア連絡会の名称で昭和59年に発足、平成12年に現在の名称となり、特に技術はないけれど何かボランティア活動をした人達の集まりです。40数名の会員があり、音楽の演奏や踊り、マジックなど素人芸能部もあります。他にも依頼があれば可能な限り何でもするのが特技(?)です。

特に、平成8年から9年間延べ10回、年末に桃山会館へ市内高齢者施設の利用者をお招きし、多くのボランティアの協力で忘年会を開催したことは良き思い出です。

現在も毎月第二日曜日に広濟寮へ伺い、催し物付きの喫茶コーナーを開き、活動を行っています。



▲広濟寮での喫茶コーナーの様子

## 坂下音訳ボランティアひびり会

(会員7人 / H11・6結成)



▲地域の情報紙『さかしたタイムズ』の音訳活動をしています

坂下音訳ボランティアひびり会は、文字情報を人間の声で音声化し、視覚障害者の方々に提供する「音訳」活動を行うことを目的に立ち上げた福祉ボランティア団体です。

音訳活動はともすれば一方通行になりがちなので、今後も利用者の皆さんとのコミュニケーションを大切にしながら、活動を進めていきたいと思います。

## ボランティアかわら版

平成19年4月

ボランティア募集や福祉イベント、助成金などに  
関する情報交換ができるページです。



▲親子ふれあい教室として「高齢者疑似体験」を行いました。

こんな福祉ボランティア活動があります①

レクリエーション活動を福祉にも生かしたい

2月17日(土)に落合コミュニティセンター主催により「親子ふれあい教室」が開催され、中津川市レクリエーション協会福祉部が中心となり高齢者疑似体験の指導を行いました。保育園児から小学校4年生までの親子が参加し、高齢者の特徴などについて学びました。中津川市レクリエーション協会では、「福祉部」を設けることにより、レクリエーション活動を福祉に役立てる取り組みを行っています。



▲公民館講座で学んできた成果を福祉ボランティア活動に役立てました。

こんな福祉ボランティア活動があります②  
ギター演奏のプレセント

昨年12月に公民館講座でギターを学ぶみなさんが、蛭川デイサービスとシヨートステイの利用者さんにギター演奏を披露しました。クリスマスにちなんだ曲やなつかしい童謡など4曲を演奏し、利用者みなさんにとっても喜ばれました。このようにみなさんの趣味や特技を福祉ボランティア活動に役立てていただくことができます。